

令和5年(上半期)

消防活動概要

(火災・救急・救助他)

丹 波 市 消 防 本 部

目 次

消防活動総括表	1
1 火災の概要	2
(1) 火災状況（前年との比較）	3
(2) 地域別火災状況	4
(3) 5年間（上半期）の火災の推移	5
(4) 月別・地域別・火災種別状況	5
(5) 曜日別火災状況	6
(6) 時間別火災状況	6
(7) 火災原因状況	7
(8) 火災覚知状況	7
2 救急の概要	8
(1) 事故種別救急出動状況	9
(2) 5年間（上半期）の救急出動の推移	9
(3) 地域別救急出動状況	10
(4) 事故種別・救急隊別救急出動状況	10
(5) 月別救急出動状況	11
(6) 曜日別救急出動状況	11
(7) 時間別救急出動状況	11
(8) 事故種別・傷病程度別搬送状況	12
(9) 収容先別搬送状況	12
(10) 年齢別搬送状況	12
(11) 覚知から現場到着までの所要時間	13
(12) 覚知から病院収容までの所要時間	13
(13) 応急（救命）処置状況	14
(14) 心肺停止傷病者発生状況	14
(15) 応急手当の実施状況	14
3 救助の概要	15
(1) 救助出動状況	15
(2) 5年間（上半期）の救助出動の推移	15
4 その他の災害出動の状況	16
5 応援・受援状況	16
6 緊急通報センター等	16

消防活動総括表

(単位:件)

区 分	種 別	令和5年上半期	令和4年上半期	比較 (△:減少)
火災 件数	総 数	18	17	1
	建物火災	12	5	7
	林野火災	0	0	0
	車両火災	1	5	△ 4
	その他の火災	5	7	△ 2
救急出動 件数	総 数	1,828	1,637	191
	火 災	4	5	△ 1
	交通事故	112	88	24
	一般負傷	284	249	35
	急 病	1,177	1,078	99
	転院搬送	196	157	39
	上記以外	55	60	△ 5
救助出動 件数	総 数	28	32	△ 4
	火 災	0	0	0
	交通事故	7	13	△ 6
	水難事故	1	0	1
	機械事故	1	2	△ 1
	建物事故	12	10	2
	上記以外	7	7	0
その他の災害 出動件数	総 数	102	92	10
	警 戒	12	12	0
	誤 報	17	14	3
	虚 報	0	1	△ 1
	支 援	68	57	11
	その他	5	8	△ 3
応援 受援	市外応援	4	11	△ 7
	市内受援	2	2	0

1 火災の概要

令和 5 年上半期の火災件数は 18 件（前年同期より 1 件増）である。

火災の種別では、建物火災 12 件（前年同期より 7 件増）、林野火災 0 件（前年同期と同数）、車両火災 1 件（前年同期より 4 件減）、その他火災 5 件（前年同期より 2 件減）であった。

損害額は 28,375 千円（前年同期より 7,840 千円減）、焼損床面積は 388 m²（前年同期より 20 m²増）、焼損棟数は 13 棟（前年同期より 5 棟増）、り災世帯数は 7 世帯（前年同期より 1 世帯増）で、り災人員は 15 人（前年同期より 8 人増）であった。火災による死者は 1 名（前年同期より 1 名増）、負傷者は 2 名（前年同期より 1 名減）である。

火災の発生原因は、焼却火 5 件、灯明及びたばこが各 2 件、ブレーキの引きずり、取灰、プラグの火花、屋内配線、配線器具及び放火が各 1 件、不明が 3 件であり、依然として、焼却行為により火勢が拡大し火災に至ったものが上位を占めている。また、高齢者によるローソクの火（仏・神棚）が原因で出火し、死傷者が発生している。

今後も消防団や関係機関との連携を強化するとともに、火災予防の啓発活動を積極的に行い、市民の防火意識の高揚を図り、火災の発生時には初動体制の確立として、初期消火、避難誘導及び消防機関への通報を徹底するよう指導し、火災の減少と被害の軽減に努めていかなければならない。

火災状況(前年との比較)

区 分 \ 年 別			令和5年上半期	令和4年上半期	比較増減 (△:減少)
火災件数	総 数		18	17	1
	建物火災		12	5	7
	林野火災		0	0	0
	車両火災		1	5	△ 4
	その他の火災		5	7	△ 2
焼損棟数	総 数		13	8	5
	全 焼		4	1	3
	半 焼		1	1	0
	部 分 焼		1	2	△ 1
	ぼ や		7	4	3
焼損面積	建物床面積 (㎡)		388	368	20
	建物表面積 (㎡)		23	30	△ 7
	林野 (a)		0	0	0
死傷者	死 者		1	0	1
	負 傷 者		2	3	△ 1
り災世帯	総 数		7	6	1
	全 損		3	1	2
	半 損		2	2	0
	小 損		2	3	△ 1
り 災 人 員			15	7	8
損 害 額 (千円)			28,375	36,215	△ 7,840
損害額内訳	建 物	建 物	26,975	22,807	4,168
		収 容 物	1,279	847	432
		小 計	28,254	23,654	4,600
	林 野		0	0	0
	車 両		103	12,366	△ 12,263
	そ の 他		18	195	△ 177

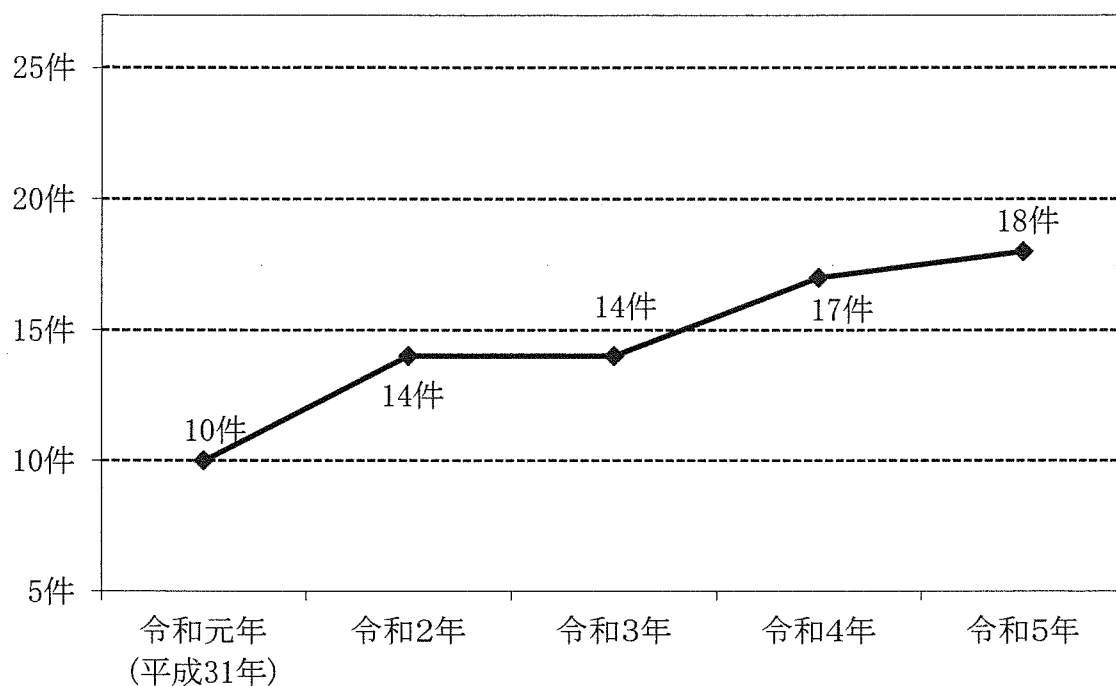
※損害額500円未満を「0」としている

地域別火災状況

区分			地域別	総 数	柏 原	氷 上	青 垣	春 日	山 南	市 島
火災件数	総 数		18	1	7	3	4	2	1	
	建物火災		12	1	4	3	3	1		
	林野火災		0							
	車両火災		1				1			
	その他の火災		5		3			1	1	
焼損棟数	総 数		13	1	4	4	3	1	0	
	全 焼		4			2	2			
	半 焼		1		1					
	部 分 焼		1		1					
	ぼ や		7	1	2	2	1	1		
焼損面積	建物床面積 (㎡)		388		36	194	158			
	建物表面積 (㎡)		23		10		13			
	林野 (a)		0							
死傷者	死 者		1		1					
	負 傷 者		2		2					
り災世帯	総 数		7	0	3	2	1	1	0	
	全 損		3			2	1			
	半 損		2		2					
	小 損		2		1			1		
り 災 人 員			15		6	6	2	1		
損 害 額 (千円)			28,375	0	13,185	13,672	1,513	5	0	
損害額内訳	建物	建 物	26,975		13,079	13,494	402			
		収 容 物	1,279		106	178	991	4		
		小 計	28,254	0	13,185	13,672	1,393	4	0	
	林 野		0							
	車 両		103				103			
	そ の 他		18				17	1		

※損害額500円未満を「0」としている

5年間(上半期)の火災の推移



月別・地域別・火災種別状況

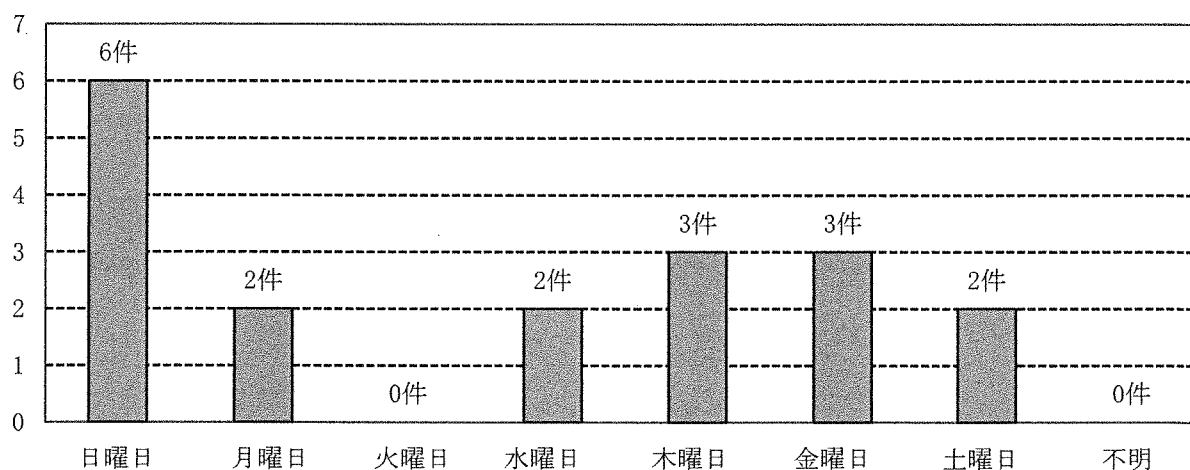
(単位:件)

区 分 \ 月 別		総数	1月	2月	3月	4月	5月	6月
総数		18	1	2	9	3	2	1
地域別	柏 原	1					1	
	氷 上	7			4	1	1	1
	青 垣	3		1	1	1		
	春 日	4		1	2	1		
	山 南	2	1		1			
	市 島	1			1			
火災種別	建 物	12	1	2	4	3	1	1
	林 野	0						
	車 両	1			1			
	その他	5			4		1	

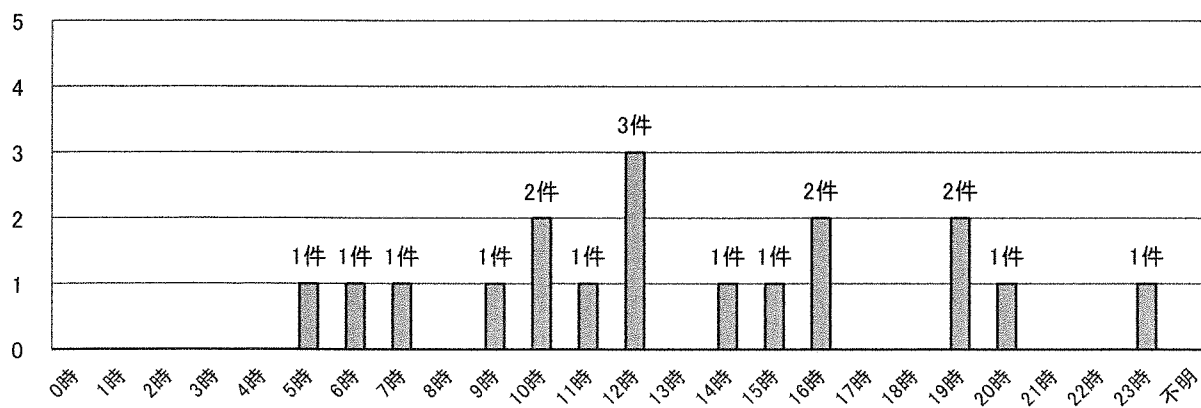
曜日別火災状況

(単位:件)

曜日別 地域別	総 数	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	不明
総 数	18	6	2	0	2	3	3	2	0
柏 原	1						1		
氷 上	7	2	1		1	2		1	
青 垣	3		1				1	1	
春 日	4	1			1	1	1		
山 南	2	2							
市 島	1	1							

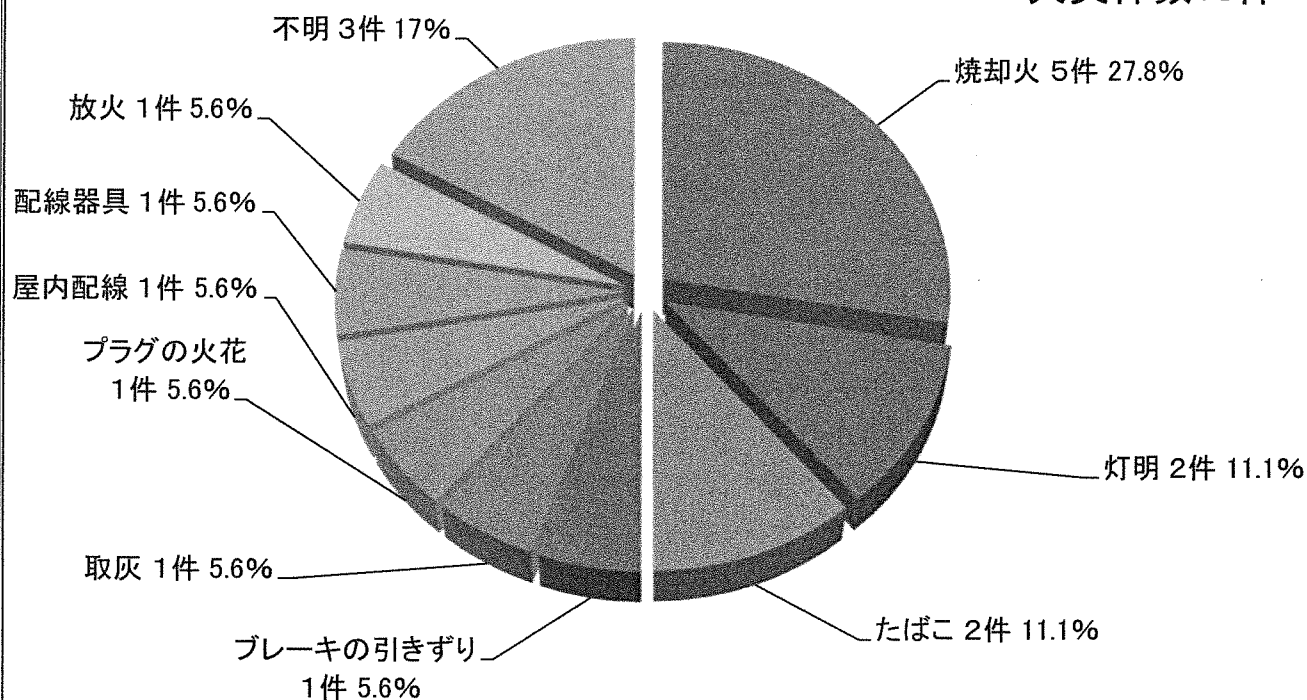


時間別火災状況



火災原因状況

火災件数18件



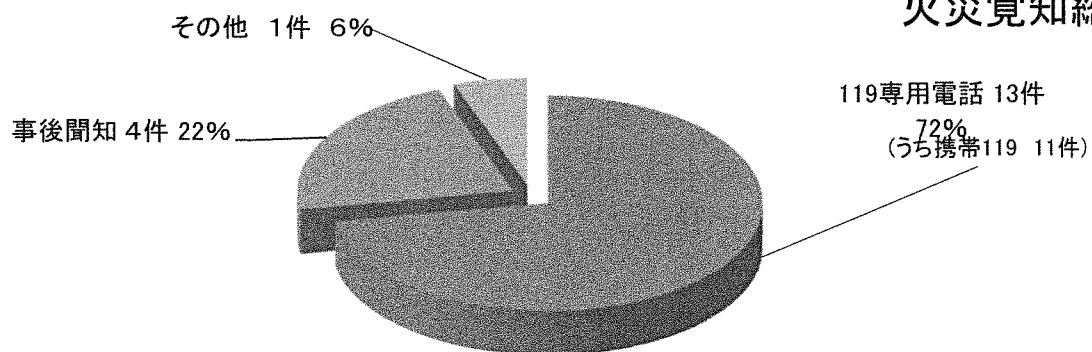
火災覚知状況

(単位:件)

地域別 覚知別	総 数	柏 原	氷 上	青 垣	春 日	山 南	市 島
総 数	18	1	7	3	4	2	1
専用電話(119)	13	1	5	2	3	1	1
携帯119(内数)	11	1	4	1	3	1	1
加入電話	0						
警 察	0						
駆け付け	0						
事後聞知※	4		2	1		1	
その他	1				1		

※ 事後聞知とは、火が消えた後に火災があったと通報を受けたものをいう。

火災覚知総数18件



2 救急の概要

令和5年上半期における救急出動件数は1,828件（前年同期より191件増）、搬送人員は1,713人（前年同期より141人増）である。

地域別では、青垣地域が減少（前年同期より、青垣地域23件減）し、その他の地域がそれぞれ増加（前年同期より、柏原地域52件、氷上地域79件、春日地域74件、山南地域2件、市島地域9件各増）している。なお、1日の平均出動件数は10.1件となっている。

山南分駐所は24時間体制で運用し、277件（前年同期より15件増）出動している。山東出張所は昼間帯に市島救急駐在所、夜間帯に山東出張所での運用し、併せて428件（前年同期より44件増）出動している。青垣救急駐在所は、週5日（月～金）の昼間帯で運用し、99件（前年同期より4件減）出動している。

救急車による傷病者の市内医療機関（ドクヘリ含む）への搬送人員は1,363人（79.6%）、市外へは350人（20.4%）で、前年同期の市内収容率（76.3%）と比べ3.3%増加している。

ドクターヘリによる搬送人員は11人で、そのうち公立豊岡病院ドクターヘリが8人（前年同期より5人の減）、兵庫県ドクターヘリが3人（前年同期と2人減）搬送しており、兵庫県消防防災ヘリコプターによる搬送については0人（前年同期より1人減）である。

年齢別搬送状況では、65歳以上の高齢者が71.6%（1,226人）で、前年同期73.3%（1,152人）より1.7%減少しており、依然として高齢者の占める割合は高い。

覚知から現場到着までの平均所要時間は10.5分（前年同期より0.2分減）、覚知から病院収容までの平均所要時間は42.5分（前年同期と0.3分増）となっている。

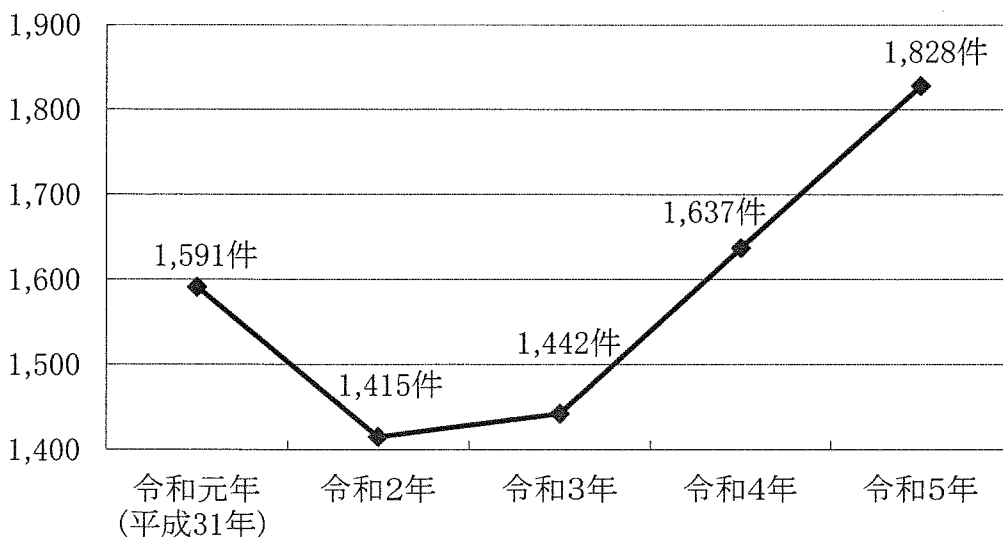
救急隊員が行った応急処置のうち、心肺機能が停止した47人に対して、除細動を6件、救急救命士が行う救命処置として、器具を用いた気道確保を34件（うち気管挿管10件）、静脈路確保の輸液を19件（うち心肺停止前輸液7件）、薬剤投与5件、ブドウ糖投与2件行っている。

舞鶴若狭自動車道への救急出動件数は4件（前年同期より1件減）、北近畿豊岡自動車道への救急出動件数は8件（前年同期より2件増）である。

事故種別救急出動状況

事故種別	年別	令和5年上半期		令和4年上半期		比較増減 (△:減少)	
		出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員
総 数		1,828	1,713	1,637	1,572	191	141
火 災		4	2	5	3	△ 1	△ 1
自然災害		0	0	0	0	0	0
水難事故		1	1	0	0	1	1
交通事故		112	106	88	86	24	20
労働災害		15	15	26	26	△ 11	△ 11
運動競技		11	11	9	9	2	2
一般負傷		284	273	249	242	35	31
加 害		3	3	5	6	△ 2	△ 3
自損行為		11	8	16	11	△ 5	△ 3
急 病		1,177	1,097	1,078	1,032	99	65
転院搬送		196	196	157	157	39	39
その他		14	1	4	0	10	1
1日当り平均出動		10.1		9.0			

5年間(上半期)の救急出動の推移



地域別救急出動状況

()内はうち数として駐在隊の件数と地域での割合 (単位:件)

地域別 \ 年 別	令和 5 年上半期	令和 4 年上半期	比較増減 (△: 減少)
総 数	1,828 (804件 44.0%)	1,637 (749件 45.8%)	191
柏 原	290 (10件 3.4%)	238 (3件 1.3%)	52
氷 上	548 (43件 7.8%)	469 (33件 7.0%)	79
青 垣	151 (61件 40.4%)	174 (79件 45.4%)	△ 23
春 日	320 (216件 67.5%)	246 (177件 72.0%)	74
山 南	289 (266件 92.0%)	287 (256件 89.2%)	2
市 島	228 (206件 90.4%)	219 (200件 91.3%)	9
市 外	2 (2件 100.0%)	4 (1件 25.0%)	△ 2

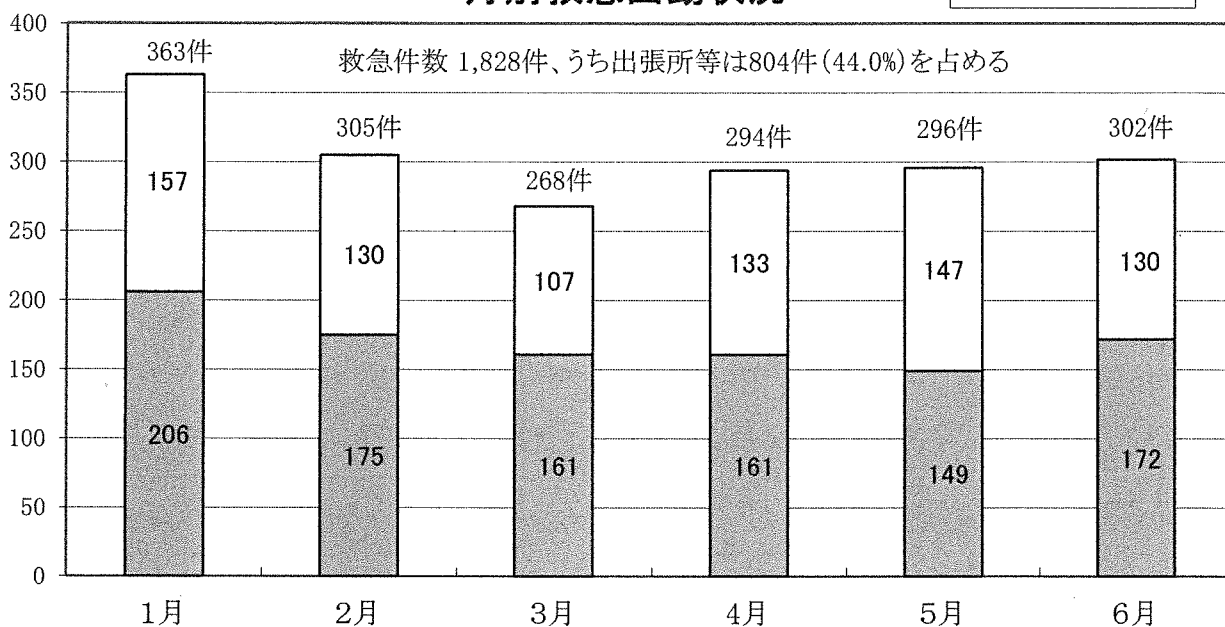
事故種別・救急隊別救急出動状況

(単位:件)

事故種別 \ 救急隊別		総数	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	その他
出動件数		1,828	4	0	1	112	15	11	284	3	11	1,177	196	14
救急隊別	署	1,024	3	-	-	77	13	5	145	3	5	617	148	8
	青垣駐在	99	-	-	-	2	-	-	15	-	1	54	27	-
	山南分駐所	277	1	-	-	12	-	-	52	-	1	205	4	2
	市島駐在	202	-	-	-	11	2	6	38	-	1	129	14	1
	山東出張所	226	-	-	1	10	-	-	34	-	3	172	3	3
不搬送件数 (総数の内数である)		123	2	-	-	14	-	-	11	-	3	80	-	13
搬送人員		1,713	2	0	1	106	15	11	273	3	8	1,097	196	1
救急隊別	署	959	1			70	13	5	140	3	3	576	148	
	青垣駐在	93				3			13		1	49	27	
	山南分駐所	260	1			13			52			190	4	
	市島駐在	196				12	2	6	36		1	124	14	1
	山東出張所	205			1	8			32		3	158	3	

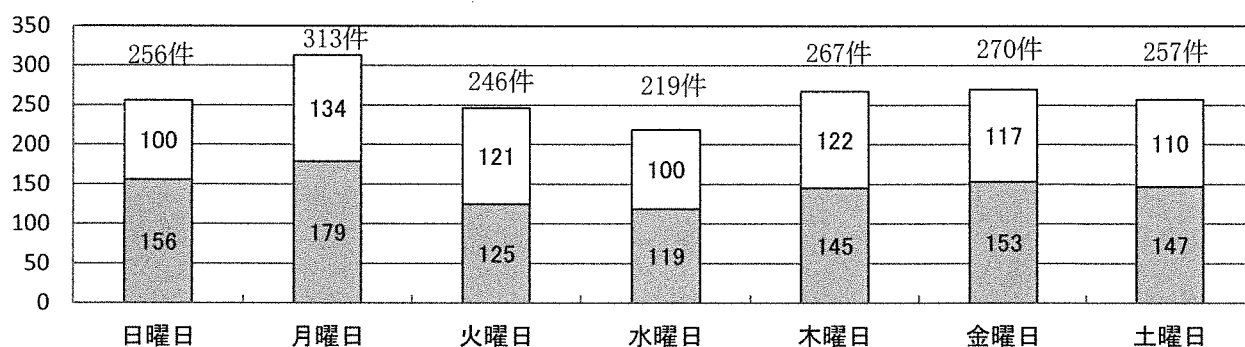
月別救急出動状況

■ 署 □ 出張所等



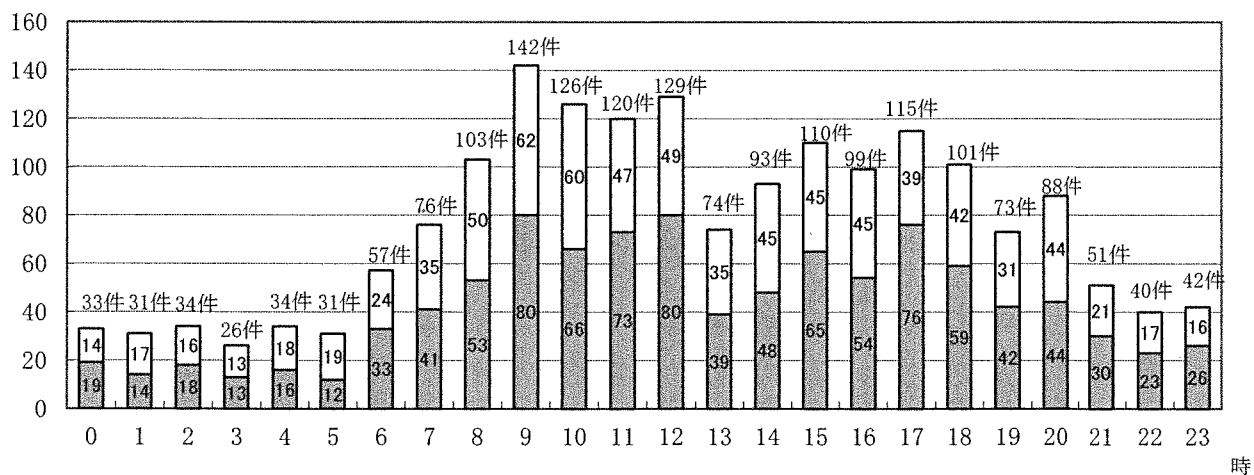
曜日別救急出動状況

■ 署 □ 出張所等



時間別救急出動状況

■ 署 □ 出張所等



山南分駐所 24時間体制
 市島救急駐在所 昼間帯(8時30分から17時15分まで)
 山東出張所 夜間帯(17時15分から8時30分まで)
 青垣救急駐在所 月曜から金曜の昼間帯(8時30分から17時15分まで)

事故種別・傷病程度別搬送状況

(単位:人)

種別 程度別	総数	火災	自然 災害	水難 事故	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	転院 搬送	その他
総 数	1,713	2	0	1	106	15	11	273	3	8	1,097	196	1
死 亡	44			1				1		1	41		
重 症	213	1			6	4		31		2	97	72	
中等症	697				16	3	1	86		4	492	95	
軽 症	759	1			84	8	10	155	3	1	467	29	1
その他	0												

死 亡・・・初診時において、死亡が確認されたもの

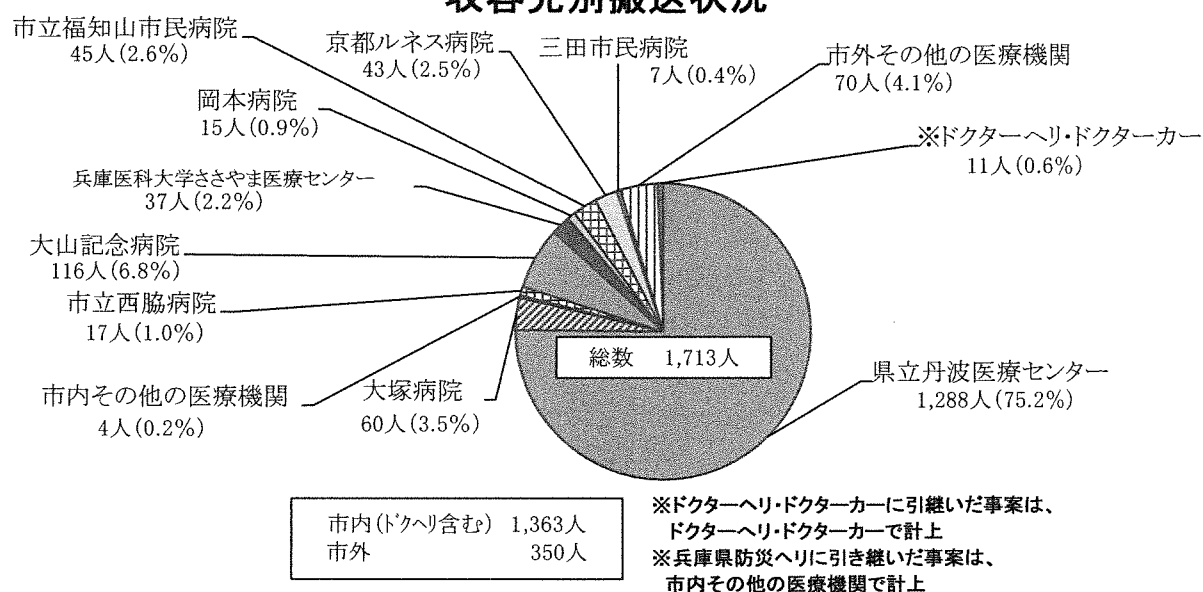
重 症・・・傷病の程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの

中等症・・・傷病の程度が入院を必要とするもので重症には至らないもの

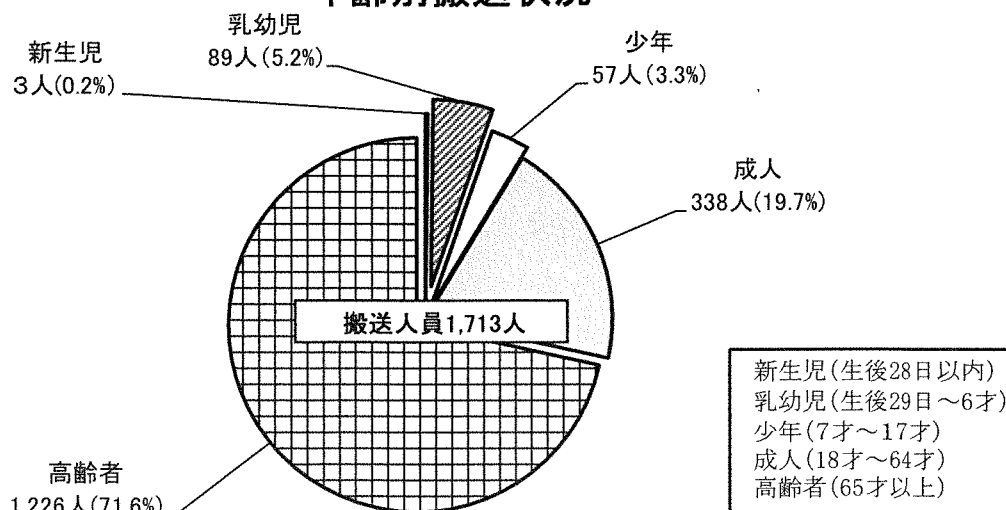
軽 症・・・傷病の程度が入院加療を必要としないもの

その他・・・医師の診断がないもの及び搬送先がその他の場所へ搬送したもの

収容先別搬送状況



年齢別搬送状況

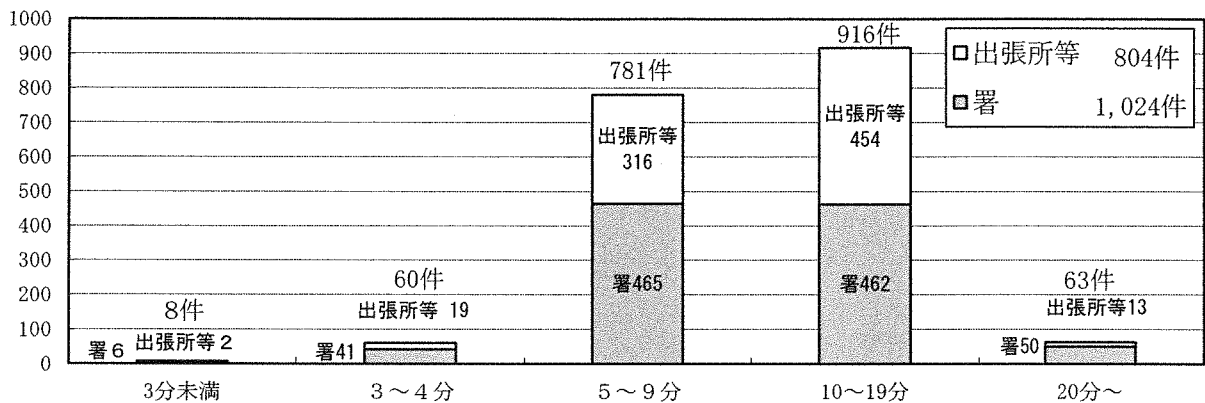


覚知から現場到着までの所要時間

(単位:件)

所要時間	総数	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	市外
総数	1,828	290	548	151	320	289	228	2
現場 まで (分)	3分未満	8	2	3	1	2		
	3～4分	60	24	18	9	5	4	
	5～9分	781	173	279	36	101	120	72
	10～19分	916	91	243	80	206	158	136
	20分～	63		5	25	11	6	16
平均(分)	10.5	8.5	9.5	13.9	11.2	10.6	12.2	15.5
最長(分)	36	19	29	31	36	27	31	16
最短(分)	0	1	1			4	3	

※現場到着までの所要時間の中には、待機場所以外からの出動又は中継したものを含む。



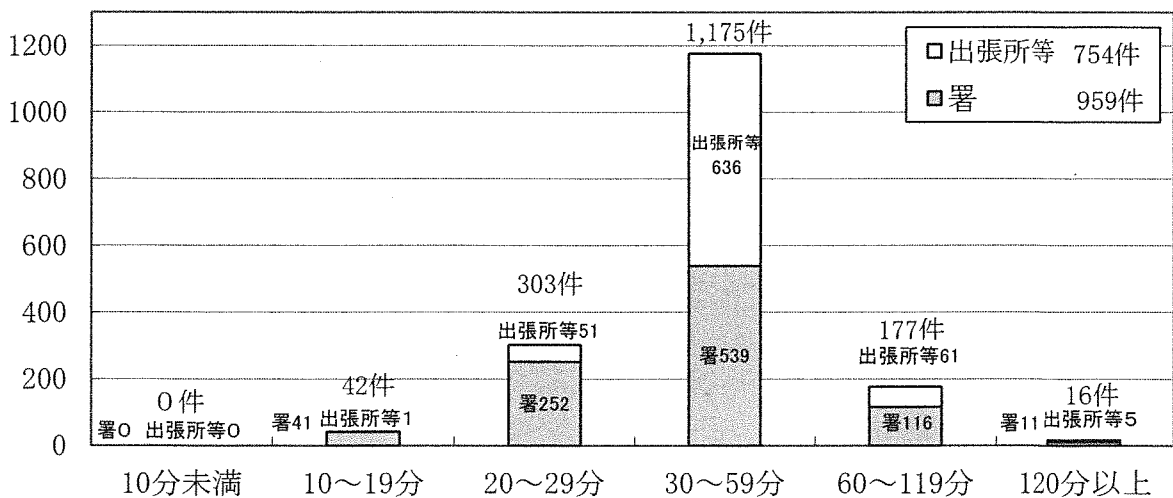
覚知から病院収容までの所要時間

(単位:人)

所要時間	総数	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	市外
総数	1,713	270	517	141	295	270	219	1
病院 まで (分)	10分未満	0						
	10～19分	42	25	16			1	
	20～29分	303	99	146	13	28	17	
	30～59分	1,175	131	269	109	246	229	190
	60～119分	177	12	81	17	20	19	28
	120分以上	16	3	5	2	1	5	
平均(分)	42.5	34.8	41.8	48.3	41.7	45.0	47.7	34.0
最長(分)	202	173	150	198	156	202	100	34
最短(分)	13	13	15	21	23	25	18	34

※不搬送件数123件である。

※ヘリコプターへの引き継ぎ事案は、傷病者をヘリコプターに収容した時間を病院収容時間として計上している。



応急(救命)処置状況(医療機関等に搬送するまでに行った処置)

(単位:回)

区分	総数	急病	交通事故	一般負傷	その他
応急処置対象人員	1,712	1,097	106	273	236
止血	24	6	4	12	2
固定	77	4	44	20	9
人工呼吸	2	1			1
胸骨圧迫	0				
(うち、自動式心臓マッサージ器使用)	0				
心肺蘇生	47	43		1	3
(うち、自動式心臓マッサージ器使用)	39	36			3
酸素吸入	444	338	14	20	72
気道確保	51	45		2	4
(うち、経鼻エアウェイ使用)	2	2			
(うち、喉頭鏡・鉗子等使用)	1			1	
(うち、リングアルマスク等による気道確保)	24	20		1	3
(うち、気管挿管)	10	10			
保温	334	210	19	51	54
被覆	58	4	12	34	8
在宅療法継続処置	18	17		1	
ショックパンツ使用	0				
除細動(AED使用)	6	5			1
静脈路確保(心肺停止状態の輸液)	12	11			1
うち、アドレナリン投与	5	4			1
静脈路確保(心肺停止前の輸液) ※1	7	5		2	
うち、ブドウ糖溶液投与 ※1	2	2			
血糖測定 ※1	38	37	1		
エピペン投与	0				
その他の応急処置	1,665	1,058	105	272	230
血圧測定	1,596	1,005	103	263	225
聴診器による心音、呼吸音の観察	426	318	43	32	33
血中酸素飽和度の測定	1,662	1,054	105	269	234
心電図の測定	1,244	870	59	149	166
合 計	7,718	5,037	509	1,128	1,044

※1 平成28年2月から運用を開始

心肺停止傷病者発生状況

(単位:人)

区分	総数	急病	交通事故	一般負傷	その他
心肺停止傷病者数 ※2	47	43	0	1	3
うち、心拍再開 ※3	3	2			1
覚知から現場到着までの所要時間	0～2分	0	0	0	0
	3～4分	1	0	0	0
	5～9分	22 (2)	21 (1)	0	1 (1)
	10～19分	23 (1)	20 (1)	0	2
	20分以上	1	0	0	0
覚知から現場到着までの平均時間	10.7	10.6	0.0	12.0	11.3
覚知から病院収容までの平均時間	34.1	33.6	0.0	41.0	40.0

※2 救急隊現場到着時、心拍再開していた者を除く

※3 ICU・病棟入院があった者で、外来処置室で死亡した者を含まず

() は内数で、心拍の再開を示す。

応急手当の実施状況

心肺停止時の状況			AEDの装着	搬 送 者	心拍再開	1ヵ月生存者
目撃あり	一般市民による 目撃あり	バイスタンダーによる 心肺蘇生法なし		3		1
		バイスタンダーによる 心肺蘇生法あり ※4	2	13	2	2
	救急隊・消防隊による 目撃あり			4	1	1
目撃なし	バイスタンダーによる 心肺蘇生法なし			11		
	バイスタンダーによる 心肺蘇生法あり		3	17	1	
合 計			5	48	4	4

() は内数で、バイスタンダーによる除細動の実施を示す。

※4 救急隊現場到着時、心拍再開していた者を含む

3 救助の概要

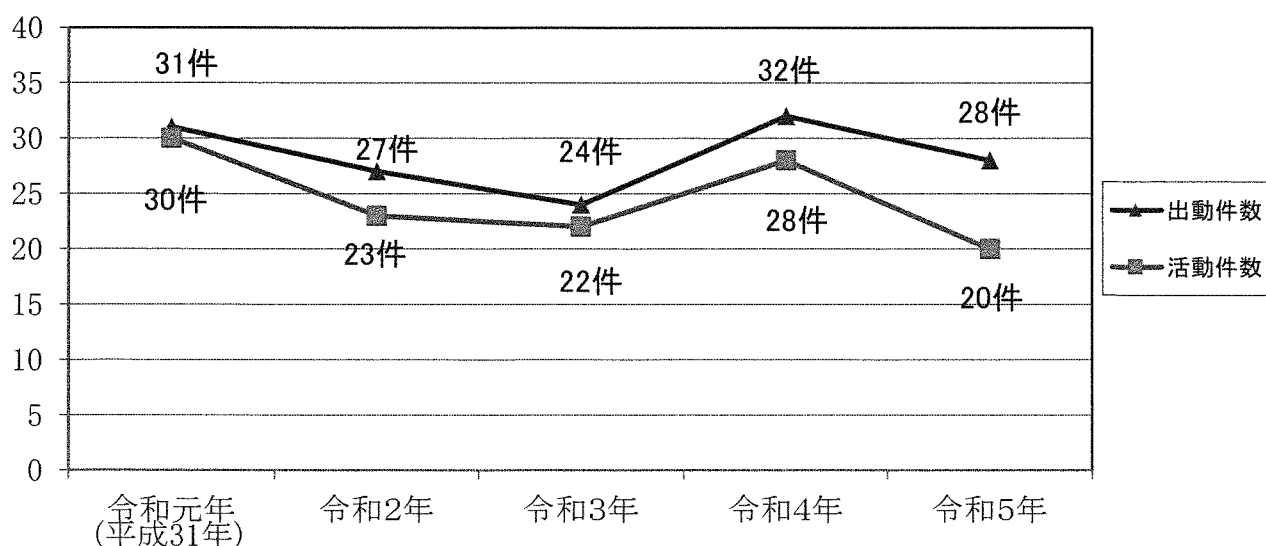
救助件数は28件(前年同期より4件減)で、うち活動件数は20件(前年同期より8件減)となっている。

出動した事故の内訳は、「交通事故」7件、「水難事故」1件、「機械事故」1件、「建物等による事故」12件
「その他の事故」7件である。

救助出動状況

地域別 事故種別		総数	火災		交通 事故	水難 事故	自然 災害	機械 事故	建物 事故	ガス 酸欠	爆発 事故	その 他
			建物	以外								
総 数	出動件数	28	0	0	7	1	0	1	12	0	0	7
	活動件数	20	0	0	7	1	0	1	8	0	0	3
柏 原	出動件数	6			1				4			1
	活動件数	5			1				3			1
氷 上	出動件数	8			3			1	3			1
	活動件数	8			3			1	3			1
青 垣	出動件数	1							1			
	活動件数	1							1			
春 日	出動件数	8			3	1			1			3
	活動件数	4			3	1						
山 南	出動件数	2										2
	活動件数	1										1
市 島	出動件数	3							3			
	活動件数	1							1			
市 外	出動件数	0										
	活動件数	0										
救助人員		12			4	1		1	4			2
搬送人員		8			2	1		1	3			1

5年間(上半期)の救助出動の推移



4 その他の災害出動の状況

火災出動、救急出動及び救助出動以外の出動件数。

(単位:件)

地域別 種別	総 数	柏 原	氷 上	青 垣	春 日	山 南	市 島	市 外
総 数	102	21	33	9	21	12	4	2
警 戒	12	3	4	2	2	1		
誤 報	17	4	4	1	4	3	1	
虚 報	0							
支 援	68	14	21	5	15	8	3	2
その他	5		4	1				

分類 ・『警戒』とは、ガス漏れや油漏れ等で火災になる恐れがある場合に出動したもの。

・『誤報』とは、「火災」「火災かも」という通報で出動したが、実際は火災でなかったもの。

・『虚報』とは、「火災」という通報で出動したが、火災に該当する事実がなく、偽りの通報によるもの。

・『支援』とは、活動困難な現場で万全な消防・救護活動等を行えるように支援目的をもって出動したもの。

・『その他』とは、焼却による煙害等、その他の消防目的をもって出動したもの。

5 応援・受援状況

市外への出動隊数と、隣接消防本部等からの受援隊数を次のとおり分類している。

地域別 種別	市外への応援出動隊数							受援隊数
	総 数	丹波篠山市	西脇市	多可町	朝来市	福知山市	隣接外	市 域
総 数	4	0	0	0	0	4	0	2
火 災	0							1
救 急	2					2		1
救 助	0							
その他	2					2		

6 緊急通報センター等

・緊急通報システムの端末機設置台数は、6月30日現在342台で、前年より40台減である。

・緊急通報システムによる緊急通報は14件(前年同期より5件増)で、救急車が出動し搬送した件数は10件である。

・聴覚障がい者等緊急通報システム(Net119)による救急通報件数は0件、登録者は26名、FAXシステムの登録者は3名で、救急通報はなかった。

地域別 区分	総 数	柏 原	氷 上	青 垣	春 日	山 南	市 島
緊急通報	14		1	2	4	2	5
緊急外通報(相談等)	3		1	1		1	
緊急外通報(停電・うっかり押し)	33		19	2	6	5	1
管理	47	7	9	5	15	11	
設置台数	342	30	52	41	66	77	76

令和 5年 8月作成

丹 波 市 消 防 本 部

TEL 0795-72-2255

FAX 0795-72-1155